

「ライフケアー 暮らしの場から生きるをケアする」 ご感想

- 遠い海士町や海外から、日本の各地から心からの交流ができたと思います。島根さんのお話を伺い、ひとりひとりから、ご機嫌さんの波が広がっていくようなそんなイメージが浮かびました。海士町にも行ってみたいなあと思いました。
- ワタシも近い将来島根さんのような事をしたいと考えていまして、非常に参考になりました。特に、自分の根底にある動機が「自分が癒されたい」とか、「承認欲求」を一部含んでいるかもしれないと感じた時は、稲妻が走るくらいの衝撃でした！お互いに依存の関係にならないために、自分がまず整う必要がありますし、しっかりと地に足をつけて立てる自分にならないといけないと考えさせられました。
- 島根輝美さんの人生のお話は、まるで強固な土壌からヒトツのタネがさまざまな試練（ハードル）を潜り抜け、どんどん育ち、トキが充ち、ついに地上に発芽し太陽（希望）に向かって笑顔でどんどん伸びていくリアルストーリーから生きる力（エネルギー）を共有いただきました。まさに、みんなのライフへの滋養（ケアー）のようでした。ずっとイマも響き渡っているのは、「ごきげんさん」というコトバです。日々、このコトバを意識して働いていると、周囲にも伝播していく様を観じています。
- 楽しい時間を過ごせました。島根輝美さんの、島のほけんしつという空間はとても魅力的な場所だと感じました。ぜひ、実際に足を運んでみたいと思いましたし、私が住む地域にも同じような施設があるといいなと感じました。皆様との交流では、皆様の「生きる」のケアの実践や意識の仕方など共有できてよかったです。
- 司会進行もスムーズで、ゲストスピーカーの島根輝美さんの人柄も素晴らしく貴重なお話も聞けて本当によかったです。昨年くらいから、ワタシも本当の意味でのこのプラネットに「生きる」ということを意識しはじめて、自分の生活の中で、そしてこれからの人生でどのように向き合うかを真剣に考え始めたタイミングでしたので、その方向性や他の方の考え&行動に触れる機会をいただけたことに感謝しかありません。
- 島根輝美さんのお話を聴いて、まず自分自身がごきげんさんであることが、まわりにごきげんさんが広がっていくことであり、GUで学んできた「充ち足りた生」が真ん中にあることの大切さの、ひらたい表現のようで、早速日常での自らの確認に役立たせていただいています。
- 『技術と共に自分の足で立つ事が大事』…福祉の現場でも同じことが言えるのですが、輝美さんの『依存する方には「はっきり伝えます」』という潔さが印象的でした。海士町は「移住者が多く活性化している」＝成功例、というイメージがあったので、他の地域でも聞くような苦労話に驚きました。
- 人が人として人と関わる、、、ひとがヒトとして人と、、、人がひととして、、、表記の組み合わせで、螺旋状にひろがっていく無限の奥行きを感じました。日ごとの暮らしで大切にしているコトですが、認識が深まりました。
- ゲストスピーカーの島根輝美さんのエネルギーで暖かで、過酷な体験を経てこられての今は、晴ればれと爽やかな風をまわっていて、存在自体が輝いて素敵な笑顔とお話に魅了されました。また交流の場でご一緒した方の中にも日常の苦悩体験の真っ只中の方や、そこを抜けて来られ今は穏やかで頼もしい方など、それぞれの日々の暮らしの中での「外せない思い」を貫き、生きて来られた方々が、日々の暮らしの中の見守り手としてケアして下さる方々になって行くのかな～などと思いました。
- 今の私に一番大事な事で必要な事だと感じました。自分を好きになり笑顔で毎日を過ごせるとどんなに生きることが充実してくるだろうと。今回参加させて頂いて少し元気になりました。ありがとうございました。